

神田外語大（千葉市美浜区）の学生が、JR東日本グループのコンビニ「ニューデイズ」を運営する「JR東日本クロスステーションリテールカンパニー」（東京都渋谷区）と連携しておにぎりの新商品を開発した。11月10日までJR東日本エリアのニューデイズで販売する計画で、売れ行き好調だという。

神田外語グループとJR東日本は2018年、人材育成推進などを目的に包括連携協定を締結した。学生の国際的な視点を生かした新商品により、「食の旅」を提案する。

今回は、同大外国語学部の鶴岡公幸教授のゼミ生6人がアイデアを出し、「シーフードパエリア風」（240円）、「ナシグレン風」（220円）、「ス

学生考案おにぎり 好調

ニューデイズ 2週間で10万個販売

「おにぎピンバ風」（380円、いずれも税込）の3種類が商品化された。

「おかずがいらぬ」と好評だという。

JR東日本クロスステーションリテールカンパニーによると、販売個数は14日の発売から2週間で計10万個に迫るほどの勢いを見せている。同大によると、いずれも具だくさんで、

鶴岡教授のゼミで中心となった4年の矢部颯太さん（22）は「ガパオライスのおにぎりはあるが、ナシグレンはなく、競合しないと考えた。2年前に韓国で食べたピピンバがおいしく、おにぎりにした」と話していた。



おにぎりの新商品開発に携わった矢部さん（左上）たち（22日、千葉市美浜区で）